



2012年7月
号外
民主党滋賀県参議院選挙区
第2総支部版
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

民主党滋賀県参議院選挙区第2総支部長

参議院議員 **とくなが久志**

民主党滋賀県参議院選挙区第2総支部
〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町294 Y P-1 2F
電話:0748-31-3047 ファクシミリ:0748-31-3057
ホームページ <http://www.e-siga.com>
eメール info@e-siga.com



**とくなが久志、党副幹事長、予算委員会理事、
拉致問題特別委員会筆頭理事として奮闘中！！**

決めるべき時に
決める!

先送りのない政治を

6月26日、社会保障と税の一体改革関連法案が、民主・自民・公明の三党の合意をふまえた一部修正を経て、衆議院で可決されました。現在は、審議の舞台を参議院に移しています。

消費税の増税ばかりが注目されていますが、社会保障と税の一体改革という名称にもあるように、これから本番を迎える少子・超高齢化社会に備えて社会保障を強化する第一歩であります。

医療・年金・介護の社会保障費が毎年1兆円も増加し続け、さらに毎年10兆円もの借金で社会保障の穴を埋めているのが現状です。

冷静に見れば一体改革は「増税先行」などではなく、「借金先行」の異常事態をようやく解消する道筋をつけるというものです。

このままでは莫大な借金を子どもたちの世代に回すこととなります。ただでさえ少子化で次世代の人口は減り続け、さらに若年層を労働市場からも締め出していたのでは、社会は破綻します。小さな一歩とはいえ、従来の医療・年金・介護に加えて社会保障の重点を現役世代にも向け、子ども・子育て政策に本格的に乗り出す意味は決して小さくはありません。

増税の前にやるべきことがあるとの批判があります。官僚や国会議員が身を切る改革、被災地の復興・復旧、デフレ経済からの脱却、これらも同時並行で包括的に懸命に取り組みます。

その上で、欧州の債務危機が決して対岸の



●4月5日 予算委員会24年度予算案賛成討論に立つ、とくなが久志

火事ではないこと、社会保障を将来にわたって持続可能とする改革は「待ったなし」であることを考えれば、今、やりぬくことが必要なのです。

マニフェストには消費税の言及がなかったことは、率直にお詫び申し上げます。衆議院の採決において法案に反対する者が続出し、離党者を多く出してしまった不始末もお詫びいたします。

お詫びすべき点、反省すべき点をしっかりと胸にきざみ、責任政党として一致団結し、未来に向かって「前進する日本」を築き上げるため、新たな決意で頑張るまいります。

党副幹事長
参議院議員 **徳 永 久 志**

安心を支え合う日本へ

政権交代で 民主党政権は 着実に政策を実行し 豊かな国民の生活を実現！



皆さまのご意見を聞き

●3月24日、「明日への責任」対話集会でのとくなが久志

「消えた年金」記録の回復

- 「消えた年金」の記録が見つかり増えた年金の総額(生涯額)は、少なくとも、全国で延べ151万人・約1.5兆円。
- 滋賀県では、延べ1.2万人・約118億円。

子ども手当制度

- 滋賀県の支給対象児童数は、約20万人にのぼり、子ども手当導入前の約1.4倍に増加。
- 滋賀県において、子育て家庭が受けた手当の総額は、2010年度で約312億9千万円で、制度導入前の約2.7倍となり、子育て家庭の経済負担が軽減されている。
- 2012年からは、新たな児童手当制度へ移行し、引き続いて子育て家庭の支援を続行。



豊かな国民の生活を実現

●3月26日参議院予算委員会でとくなが久志の質問に答える野田総理

2010年から診療報酬 10年ぶりにプラス改定

- 医師・看護師などの増員に努める医療機関、産科・小児科、緊急医療に重点配分。
- 滋賀県でも滋賀医科大学で100名+10数名の増員。また、滋賀県の公立病院でも、経営が安定。



国会で徹底的に議論し

●3月26日参議院予算委員会で質疑に立つ、とくなが久志

農業者戸別所得補償制度

- 滋賀県では、販売農家の約95%(29,500戸)が農業者戸別所得補償制度に加入。10アールあたり1万5千円の価格補てんにより、稲作経営の安定に効果を発揮。
- コメ以外の作物への助成も充実。